

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	43000	コミュニティ広場等管理費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		6		スポーツの振興	根拠法令	一般	10	5	2	☒ 主な事業
施策の展開		14		スポーツ施設の維持管理	戦略事業	66				☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開					戦略事業					☐ 新市建設計画
										☐ 定住自立圏構想
										☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市民がスポーツに親しめる環境として、市有地等をスポーツ施設として貸出及び維持管理を行う。 【施設概要】 1. コミュニティ広場：①仁玉コミュニティ広場(市有地 1箇所 管理委託)、②仁玉スポーツ広場(土地開発公社が道路代替地として取得している土地 1箇所 利用者による管理、③新川スポーツ広場(土地開発公社が環境施設として取得している土地 1箇所 環境課から移管され維持管理) 2. 足川浜軽スポーツ場(借地 1箇所 利用者による管理) 【利用手続き】 1. コミュニティ広場 利用予約必要 2. 足川浜軽スポーツ場 利用予約不要 【利用料】 無料	・仁玉スポーツ広場は平成12年から、スポーツ広場は平成17年から、土地開発公社所有地の有効活用のため、スポーツ施設として暫定利用することとなった。・スポーツの利用ができる市有地(市有地及び借地)を、貸出できるよう整えた。	・団体による、継続した利用が増えた。 ※土地開発公社所有地活用の見通しが、取得時と変わってきた。	・利用者から、仁玉スポーツ広場について、快適に利用できる施設の整備を求める声がある。 ・利用者から、施設の維持補修について要望がある。(例年：除草作業等)

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位	千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 消耗品費	37	フェンス金具 草刈り機部品	千円	36	22	37	37	40
2. 光熱水費	144	水道 電気	千円	131	138	137	144	146
3. 修繕料	69	新川スポーツ広場散水設備等修繕	千円	51	715	66	69	70
4. 委託料	228	維持管理委託	千円	158	158	227	228	266
5. その他	178	備品等	千円	152	228	168	178	193
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位	千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 国庫支出金	0		千円	528	1,261	635	656	715
2. 都道府県支出金	0		千円					
3. 地方債	0		千円					
4. その他	0		千円					
		単位	千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 国庫支出金	0		千円	528	1,261	635	656	715
2. 都道府県支出金	0		千円					
3. 地方債	0		千円					
4. その他	0		千円					
		単位	千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 国庫支出金	0		千円	528	1,261	635	656	715
2. 都道府県支出金	0		千円					
3. 地方債	0		千円					
4. その他	0		千円					

前年度増減理由	増加理由：草刈機燃料代の高騰、水道使用量の増加、経年劣化による修繕箇所の増加のため。
---------	--

従事職員数 常時 3人 最大 人 × 日 = 延べ 0人

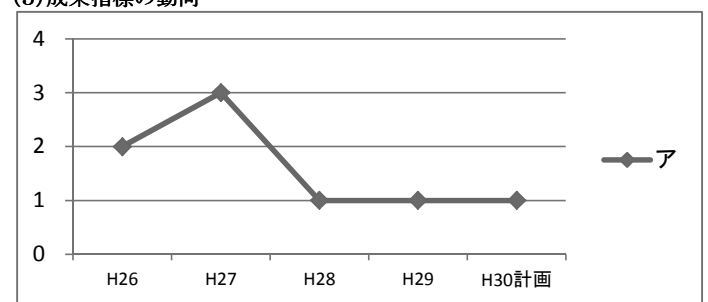
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 各施設の維持管理と必要修繕箇所の見極め及び早期対応。		ア 仁玉コミュニティ広場利用日数	日	117	120	119	119	118
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 仁玉スポーツ広場利用日数	日	117	120	119	119	118
	対象意図 安全で快適に施設を利用できる。		イ 新川スポーツ広場利用日数	日	117	120	119	119	118
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
			ア 維持管理に関する要望件数	件	2	3	1	1	1
目的	対象意図		イ						
	対象意図								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
大きい		④	中位 1/3
普通		②	上位 1/3
小さい		④⑤⑥⑦⑧⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項(30年度に取り組む主な事項について記載)	今後の方向性
	☐ 完了 ☐ 順調 ☐ 概ね順調 ☒ 停滞 ☐ 実施困難 【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由) 修繕要望箇所への対応不備のため	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値減＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 比較 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30計画 ア 1 1 Δ2 0 0 イ	時期 内容 平成30年度末まで 仁玉コミュニティ広場については、フェンス及びバックネット補修計画策定。仁玉スポーツ広場については、仮設トイレ及びフェンスの補修計画策定。新川スポーツ広場については、道路境界杭の補修。	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他() 平成30年度末まで 各施設の維持管理と修繕箇所への早期対応。